

国語科における指導の重点(身に付けさせたい力) ※学習指導要領に照らし合わせて	
ア 思考力、判断力、表現力等(読むこと)	イ 思考力、判断力、表現力等(書くこと、話すこと・聞くこと)
・叙述に基づいて、文章全体の構成を捉えて内容を読み取る力	・伝え合う力を高め、自分の思いや考えをまとめるために引用と具体的な事例を用いて根拠を明確にする力

	児童・生徒の学力の状況(課題)	授業における具体的な手だて	手だての実施時期	成果検証(2月)
第1学年	<ul style="list-style-type: none"> ・事柄の順序を考えながら、内容の大体を捉えることはできるが、文章の中の重要な語や文を考えて選び出すことは難しい。ア ・相手に伝わるように自分の考えや感想を自分の言葉で書いたり話したりすることは難しい。イ 	<ul style="list-style-type: none"> ・全文ワークシートで、文章の全体構成を考え、色を使って可視化することにより、大事な事柄がどこに書いてあるかを意識することができるようとする。 ・文章の型や話型を提示し、それを基に書いたり話したりする練習をする。また、友達の意見を聞いたり、自分の考えを話したりする機会を増やす。 	<ul style="list-style-type: none"> 9月～2月 9月～2月 	<ul style="list-style-type: none"> ・文章の構成を捉えることができてきたり、説明文では問い合わせがあることを理解し、それをもとに読み取ることができた。 ・話型をもとに、発表をすることができるようになっている。また、話型が無くても上手にコミュニケーションをとることができている。
第2学年	<ul style="list-style-type: none"> ・一つ一つの場面における情報を読むことはできるようになってきたが、情報と情報との時間的な順序などの関係性について捉え、自分の考えや感想をもつことは難しい。ア ・さまざまな考えをもつための視点を与え、意見のズレを意図的に生み出すことで交流するが、友達の考えのよさに気づくことは難しい。イ 	<ul style="list-style-type: none"> ・時間的な順序を捉えるために、全文ワークシートにより文章全体の構成を捉えることに加え、挿絵などの資料等が付いた読解ワークシートを作成し、時間の経過やそれに伴う変化などを意識できるようとする。 ・叙述を基にした選択肢の中から、自分のお気に入りを選び、自分の考えをまとめ、発表する機会を設けて交流し、友達の考えについて感想を伝える機会を増やす。 	<ul style="list-style-type: none"> 9月～2月 9月～2月 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートの活用により、順序や時間経過、それに伴う変化を意識できるようになり、自分の考えや感想をもつことができるようになってきた。 ・友達の考えについて感想を伝える機会を増やしたこと、自分と友達の考えの違いや友達の考えのよさに気付けるようになった。
第3学年	<ul style="list-style-type: none"> ・記述から登場人物の気持ちを想像したり、心情を読み取りながら読んだりすることは概ねできているが、長文や表現の難しい部分が出てくると、場面の状況を想像することが難しい。ア ・書く内容に合わせて題材を集め、教科書の文章構成を理解して文を書くことができたが、段落分けや内容に合った文章を書くことが難しい。イ 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の中で物語文や説明文の内容を表に時系列や感情曲線で整理し、それを基に自分の考えを深められるようにする。また、様々な文章に触れる機会を意図的に設定し、読む経験を多く積ませる。 ・児童同士でアドバイスし合う時間を作り、自分の文章を見直せるよう指導していく。書く視点を明確にし、様子を表す言葉を増やす指導を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 9月～2月 9月～2月 	<ul style="list-style-type: none"> ・ペアやグループ活動を増やしたことにより、自分の考えを広げることができ、場面の状況を想像できるようになってきた。 ・教師によるモデリングやスライドを用いることで、目的に沿った活動や内容に合った文章を書くことができるようにってきた。
第4学年	<ul style="list-style-type: none"> ・段落相互の関係や助詞等に着目しながらまとまりとして考えることが難しい。ア ・根拠を明確にして自分の考えを伝えたり、書いたりすることが難しい。イ 	<ul style="list-style-type: none"> ・全文ワークシートと文章構成表等を活用しながら、児童の読解力を身に付けられるよう読解方略指導を行う。 ・主張と根拠が明確になるよう指導する。具体的には思考を促す問い合わせ積極的に投げかけ、児童の思考の整理が行えるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 9月～2月 9月～2月 	<ul style="list-style-type: none"> ・段落構成や対比などに気を付けて読むことを繰り返したこと、根拠となる叙述を見つけることができるようになってきた。 ・感想や考えを書いた後には交流を

				することによって、主張と根拠を分けて考えることができ、思考の整理ができるようになってきた。
第5学年	<ul style="list-style-type: none"> 説明文では、筆者の考えを読み取ることはできているが、要旨を正しく捉えることに課題がある。ア 相手に分かりやすく、順序立てて自分の考えを伝える文章を書くことがまだ難しい児童もいる。イ 	<ul style="list-style-type: none"> 要旨を捉えられるように、全文ワークシートや構成表を使用し、文章内のキーワードを確認して要点をまとめたり、文章の構成を確認したりする。 文章の型を提示することで、読み手に伝わりやすい文を書けるようにする。 考えを共有する場面やお互いに読み合う時間を設定し、様々な表現方法を提示できるようにする。 	9月～2月 9月～2月 9月～2月	<ul style="list-style-type: none"> キーワードや構成を整理したり確認したりすることで、要旨をまとめられるようになってきた。 文章の型を提示することで、それともとに自分の考えや意見を伝わりやすい文章に書くことができるようになった。 考えを共有する場面を多く設定することで、様々な表現の方法に触れ、考えが深まった。
第6学年	<ul style="list-style-type: none"> 登場人物の相互関係や心情などについて、描写を基に捉えることは概ねできるが、文章を読んで理解したことについて自分の考えをまとめることが難しい。ア 資料を活用して伝えたいことを書くことはできるが、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫したり、文章を整えたりすることは難しい児童が多い。イ 	<ul style="list-style-type: none"> 単元の終わりだけでなくまとめごとに、自分の思いや考えをまとめる機会を増やしたり、自分の考えをグループで共有したりする機会を設けていく。 考えが伝わる文章を例示したり、友達の文章を読む機会を設定して文の書き表し方の工夫を意識させたり、書いた文章を見直して文章を整える習慣を身に付けさせる。 	9月～2月 9月～2月	<ul style="list-style-type: none"> 自分の思いや考えをまとめる機会を増やしたり、自分の考えをグループで共有したりする機会を意図的に設けたことにより、適切な言葉で表現することができるようになった。 推敲の仕方を例示し、グループで友達の文章を読む機会を設定した結果、文章を整える習慣が少しづつ身に付いてきた。

■「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実に向けた一人一台端末等ICTの効果的な活用について	■学習の見通しをもたせることや学習を振り返ることの工夫等、「学びに向かう力」の育成に向けた取組について
<ul style="list-style-type: none"> 写真機能の活用（書き方のポイントや例文の共有、要点の確認等） 二次元コードを活用（話し合いの仕方や情報の共有） 付箋機能や短冊機能を活用（文章構成、段落相互の関係の確認、登場人物の整理） 思考ツールの活用（考えや意見の分類・整理） スライドの活用（根拠の提示） ロイロノート「提出箱機能」の活用（他者の考えを即時的に認識し、自身の考えを拡げる） 	<ul style="list-style-type: none"> 見通しをもたせるために、単元の目標や学習の流れを示したり立てたりする。 最初に提示した目標などについて振り返り、次の学習につなげられるようにする。 ロイロノート上に蓄積されたスタディログを効果的に振り返り、次の学習につなげられるようにする。